

第7回小委員会(第3、4章)における意見等と検討結果

第7回 議案箇所 ・ページ	発言者	意見・質問内容等	今回議案 箇所 ・ページ	:検討結果・修正内容等 :第7回小委員会での説明要旨
P3	長原委員	「テーマ2『はつらつ！日々の暮らし』」の解説文中、「健康福祉づくり」という用語について違和感がある。	P61	「...生涯にわたる健康福祉づくりを推進し、...」 「 健康づくり 」に変更。
P9	浅井委員	「公共交通体系の維持充実」の中で、「～軌道系交通機関などの導入...」について、具体的な交通機関と事業主体はどこを予定しているのか。	P67	札幌市への軌道系交通機関のことは欠かせない部分であり、「導入を促進」との表現に止めたくうえで記載しているが、努力目標として掲げているものであり、誤解を招くようであれば、表現を検討する。 努力目標である旨、誤解のないよう、表現を「...軌道系交通機関などの導入を促進します。」 P67「...軌道系交通機関などの 導入促進に努めます。 」に変更。
P10	加納委員長	「防災体制の整備と国土の保全」の部分に、災害時のライフライン確保の考え方などを明記すべきである。	P68	「防災体制の整備と国土の保全」に、「...消防力の強化及び救急救助体制の整備、防災施設整備を進めるとともに、 緊急時における輸送ルートの検討、... 」を追加。
P9	長原委員	「(1)しっかり！暮らしの基盤」の「実現にむけた施策の展開」中、「公共交通体系の維持充実」における、R231にかわる災害時の代替え交通ルートについて検討が必要である。	P68	上記による。
P9	池端委員	「情報通信網の整備」で、「...個人情報の情報格差発生を防ぐ...」という記述では、全市民がすべての情報の共有が図られているかのような誤解を招くのではないかと。	P67	いわゆる「デジタルデバイド解消」であり、事務方でもう一度表現を検討する。 「...個人情報の情報格差発生を防ぐため、市民への情報化の普及啓発を行います。」 P67「... パソコンやインターネット等を利用する能力や機会の均等を図るため、市民への情報化の普及啓発を行います。 」に変更。
P11	長原委員	「健康増進と地域医療の確保」について、国民健康保険制度の話が突如として出てくるように感じられ、違和感がある。	P69	前後の段落とのバランスから、「国民健康保険制度の健全で安定的な運営のために保健事業の推進と収納率の向上を図るほか、持続可能な医療扶助制度の確立を図り、健康で安心できる暮らしの環境を整えます。」 P69「国民健康保険制度の健全で安定的な運営（ 削除 ）や持続可能な医療扶助制度の確立を図り、健康で安心できる暮らしの環境を整えます。」に変更。

P12	浅井委員	「安全な消費生活の確保」の部分に、悪徳商法、詐欺、ヤミ金等々の具体的な文言を入れた方が、読み手にとって理解し易いのではないか。	P70	表現がきつくなならない程度に検討を。(委員長) 「...加えて、啓発や相談などの事業を展開し、...」 P70「 ...また、契約に関するトラブルから消費者を守るため、啓発や相談などの事業を展開し、... 」に変更。
P14	長原委員	「商業・流通業の振興」のうち、石狩湾新港地域の事業所誘致は、卸売・流通関連に限らず、「工業の振興」にも共通して言えるのではないか。	P72	「工業の振興」 「...環境・リサイクルなど北海道の新時代にふさわしい産業の育成を図ります。」 P72「 ...環境・リサイクルなど北海道の新時代にふさわしい産業の育成及び誘致を図ります。 」に変更。
P15	池端委員	「民生エネルギー」について	P73	余白に、注釈を挿入。 P73(注釈)「 民生エネルギー：家庭、事務所、病院、店舗などで消費される石油やガスなどのエネルギー。 」
第4章	小池委員	・第4章全般に関して、内容のわかり易さという点で、現状はどうかのだといった部分も加えた方が良いのではないか。第1章には書かれているが、要約して記述するといった方法、もしくは、末尾に注釈を「ページ参照」などと記載するという方法もあると思う。	第4章	各分野ごとの現状については、第1章でまとめているものであり、また、第4章は将来像に対する施策の方向性をまとめるということから、二重で記載することは避けたい。なお、関連が分かるよう、欄外に注釈するなどについては、検討する。 検討の結果、「ページ参照」などの注釈については、文書構成が複雑になると思われる。
全般	長原委員	・どこかに「一体感で結ばれたまちづくり」についての位置付けが必要ではないか。 石狩市では、かつて花川団地に関連して「新旧融合」ということが盛んに言われていたという経緯もあり、合併後の一体感醸成は重要なテーマであると思う。	全般	「第4章 施策の方向と原則」の大前提として、一体感は重視しているところであるが、その部分をより具体的に載せるべきかどうかについては検討する。 「第2章 主要課題」、「第5章 重点施策」の前提として、「一体感の醸成」という重要テーマをあらためて掲げた。
全般	小池委員	・農・漁業振興の観点で、新規就業希望者などへのコマ-シャルを強化し、新住民の誘導・開拓を図れば良いと思う。	P77	「担い手の育成」に包含されるものと考えられるが、さらに深めて記述できることがあれば事務方で検討する。 Uターン、1次産業への新規就業情報についてのPRについては、P77「国際交流・地域間交流の推進」における「...自然体験・農林漁業体験の機会の設定や、UJIターン情報の提供...」など、地域間交流の推進や、新市域の内外を問わない交流の中からも生まれてくるものと考えられる。